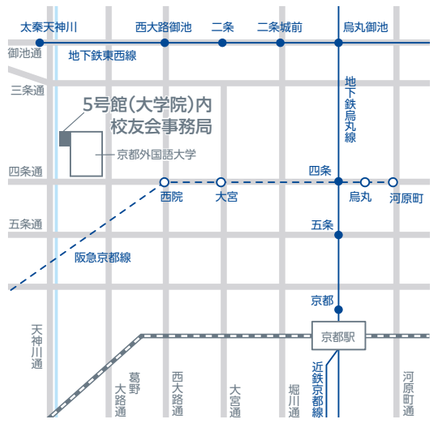
京都外国語大学校友会会報
ALUMNI NEWS No.41
令和８年(2026年) ６月15日発行
発行人＝京都外国語大学校友会　会長　左近正則
発行所＝京都外国語大学校友会
編　集＝京都外国語大学校友会　広報委員会



校友会
公式LINE

校友会HP

京都外国語大学校友会
〒615-8558　京都市右京区西院笠目町6番地
TEL:075-322-6057　FAX:075-322-6220
https://www.kufs.ac.jp/koyukai　e-mail:koyukai@kufs.ac.jp

●校友会ホームページをご覧ください。

京都外国語大学校友会　検索

No.41
京都外国語大学校友会会報

KYOTO UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES

ALUMNI NEWS



京都外国語大学校友会

CONTENTS

01 会長挨拶
京都外国語大学校友会　会長　左近 正則

02 理事長・学長挨拶
学校法人　京都外国語大学　理事長・学長　北　寿郎

03 寄稿文
利根川正則／洲崎邦郎／野井聖子

06 学園創立80周年に向けて―プレイベント「ホームカミングデー」開催予定／
校友会設立65周年記念総会に向けて

07 短期留学FAP奨学金―留学準備金給付 体験報告

08 祝「校友会奨学金授与」慶びの声
・外国人留学生給費奨学生（外国語学部・国際貢献学部）／（留学生別科）
・「輝く星となる学生」給費奨学生（外国語学部・国際貢献学部・短期大学）
・「併設短期大学推薦編入学試験入学検定料補助金」授与式の挙行

生涯学習講座無料のお知らせ

10 在学生からのメッセージ

12 MY DREAM―卒業生からのメッセージ

13 校友会グッズのご案内／クラブ同窓会連絡会・交流会／外大祭模擬店／
JK杯「言葉の壁を越えて！ 英語スピーチ大会報告」（和歌山支部）

14 支部・学科・クラブ同窓会だより
・韓国支部／和歌山支部／教志会／徳島支部
・福井支部／ Club HAT's ／兵庫支部／上海支部
・福岡支部／東京支部／奈良支部／大阪支部
・ソフトテニス部／剣道部／学生放送局／ボディビル部
・茶道部／自然科学研究会／能楽部／サッカー部
・弓道部／海外事情研究会／ヨット部／アメリカ民謡研究会

20 2025年度　校友会事業報告、会計報告／2026年度　校友会事業計画

21 校友会役員／監査役／常任幹事／支部連絡先（国内・海外）／
活動中のクラブ同窓会紹介

京都写真散策
Kyoto Photo Walk



表紙写真：祭提灯で飾られた八坂神社舞殿

〔写真・文〕 アートディレクター
林　孝弘（s40年度英米語学科卒）

「神輿洗奉告祭」を迎える八坂神社の舞殿

祇園祭は葵祭、時代祭とともに京都の三大祭のひとつだ。

祭りの中心となるのが三基の神輿、七月十日に行われる「神輿洗奉告祭」では「神輿洗式」に先立ち、神輿一基を八坂神社から四条大橋の上まで運び、鴨川の水で清め神霊を迎える準備をする。その後祇園石段下に三基の神輿を勢揃いさせて、差上げが行われる。八坂神社に戻った三基の神輿は祭提灯が綺麗に飾られた舞殿に据えられる。１ヶ月にわたりいろんな神事・行事が繰り広げられる。なかでも七月十七日（前祭）と七月二十四日（後祭）の山鉾巡行は祭のハイライト、京のまちは祭の熱気に包まれる。

京都は年中どこかで祭りを見ることができる。五月の葵祭、七月の祇園祭、十月の時代祭と均等に年中行事を配したのはさすが京都だと感心する。

Next Stage へ

校友会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

2025年度は会長就任の年であり、校友会活動が会員皆様方にとって同窓生として旧交を温め、かつ繋がりを深める場として有機的に活動が行えるように短期・中期計画を立ててまいりました。

昨年度の主な取り組みとして、校友会会員の親睦を目的とした教志会主催英語教育実践報告研究会・Club HAT's総会を含む９都府県の国内支部総会、韓国・上海での海外支部総会の実施、60名を超えるクラブ同窓会連絡会・交流会と10クラブの同窓会総会、第31回ジョン・ケンドリック杯小中学生スピーチコンテストが実施されました。

また、在学生への支援事業として、外国人留学生への奨学金授与、「輝く星となる学生」奨学金授与、海外短期留学参加者35名に対して今年度第１回目となる留学助成金授与、短期大学編者入学試験に係る受験料の補助、さらには外大祭実行委員会に対して支援金の贈呈を行いました。

新たに国内においては、十数年の時を経て第一回奈良支部総会の開催に至り、今年度は広島支部設立に向けた準備から第一回広島支部総会開催に向けて進めています。

国外においては、2015年頃まで活発に行われていた海外支部総会も、コロナ禍での活動停止を余儀なくされ、それ以降活動が停滞している支部活動の再開を目指してまいりました。その結果、シンガポール支部の活動再開に向けた準備や海外他支部との相互連絡の再開を進めております。

今年度は、2027年開催の校友会設立65周年に向けた準備と、学園創立80周年に向けたプレイベント「ホームカミングデー」開催に向けて大学とともに準備を進めてまいります。

学園創立以来、言語研究や言語を通して諸外国の事情や文化等を研究する大学として着実に発展してきたキャンパスでの学びを経て、数多くの卒業生が国内外において活躍されています。一方、近年の日本を取り巻く少子高齢化・人口減少問題は18歳人口の減少をもたらしています。しかし、このような時代であるからこそ様々な問題を直視し世界を見つめる若者の育成を目指す母校は我々の誇りであります。やはり、「Pax Mundi Per Linguas」が母校の普遍的理念として私の中に存在しています。



校友会として、会員相互のネットワークをさらに広げ、校友会と大学発展のためにともに歩んでまいりますので、会員の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



京都外国語大学校友会
会長
左近 正則
SAKON Masanori

言語で世界に平和を

Message from KITA Toshiro



学校法人 京都外国語大学
理事長・学長 北　寿郎

校友の皆さまには、日頃より母校の発展を温かく支えていただき、心より御礼申し上げます。理事長として初めて本誌に寄稿できることを、大変光栄に存じます。なお、この４月より学長も兼務することとなりました。理事長・学長として、母校のさらなる発展に力を尽くす所存です。

本学は来年５月に、創立八十年の節目を迎えます。「PAX MUNDI PER LINGUAS ― 言語を通して世界の平和を」という建学の精神は、戦後の混乱期から今日に至るまで揺らぐことなく、本学の指針であり続けました。世界の多様な文化を理解し、対話と共生を実践する人材を送り出してこられたのは、まさに校友の皆さま一人ひとりの歩みによるものであり、母校を代表して深く敬意を表します。

私は企業の研究所において、人間の知性や学習を支える仕組みに関する研究に携わった経験があります。だからこそ、教育の本質は「人が人から学ぶ」営みにあると確信しています。生成AIが急速に社会へ普及し、働き方・学び方・価値観が変化する時代であっても、言語を通じて他者を理解し、相手の背景を尊重しながら協働する力の重要性は、決して薄れることはありません。本学の理念は、むしろ今の時代にこそ強く輝くものだと感じています。

これからの母校は、AI・デジタル技術を活かした学習支援の高度化、リスキリングを含む生涯教育、地域・国際連携、産官学協働の拡大、多様性と包摂性を尊ぶキャンパスづくりをいっそう進めてまいります。学生が「自分の言語で世界とつながる力」を身につけられるよう、教職員一同が力を合わせ、教育の質向上に取り組んでいく所存です。

創立百周年へと続く道のりは、母校と校友が互いを照らし合って歩むことで開かれていきます。世界のあらゆる分野で活躍される校友の存在こそ、在学生にとって最高のロールモデルであり、母校にとってかけがえのない力です。どうか今後とも、変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

つなげる　つながる
卒業生の絆と外大文化

京都外国語大学校友会東京支部は、1988年の創設以来、「つなげる つながる 卒業生の絆と外大文化」を旗印に、世代と学科の垣根を越えて人と人とを結び続けてきました。私が2015年より６年間、支部長としての任をお預かりした期間は、その理念を東京という国際都市において具体化していくための挑戦の連続でした。

150を超える国々の駐日大使館が集まる東京の地の利を背景に、私たちはポーランド、トルコ、メキシコ、グアテマラ、ベトナムなど、多くの国を代表する駐日大使らを東京支部の集いにお迎えしました。それは、来賓としてお招きするにとどまらず、現役学生の未来への扉を開く架け橋となっていただきたいとの思いからです。インターンシップや就職、国際社会への第一歩は、「人と人との出会い」から始まるという確信のもとに進めてきた取り組みでした。



英米語学科創設60周年記念式典（2019年）

卒業生の皆さんには、母校を「終わった場所」ではなく、「一生つながるネットワーク」として大切にしてほしい。現役学生の皆さんには、大学で出会う人、言葉、文化を、世界へ飛び出すための翼にしてほしい。



利根川　正則

s51年度英米語学科卒

PROFILE（とねがわ　まさのり）

株式会社グローバルメディア 代表取締役／在日ポーランド商工会議所 副会頭／日本外国特派員協会 会員／経済産業省「ブランドランドジャパン」プロジェクトマネージャー、内閣府「TOKYO 2020」ホストタウンアドバイザーなど、公的プロジェクトを含む多くの要職をこれまで歴任。

- PCO（プロフェッショナル・コングレス・オーガナイザー）を専門とする会社にて、国際会議、国際見本市、各種イベントの企画・運営に携わる。以来、今日までに600件を超えるコミュニケーションプロジェクトの企画・運営・監理を手がける。
- 1994年1月、株式会社グローバルメディアを設立。
- 2003年には米国カリフォルニア州に現地法人を設立し、2007年まで同地に在住。
- 米国への事業進出を契機に、日本企業・自治体の海外展開、ならびに海外企業・海外政府機関の日本市場参入を支援。貿易・投資・観光分野における双方向の「架橋事業」に特化し、国際的なネットワークと実務経験を基盤とした事業を展開している。

東京支部はこれからも、世代を超えて外大の心をつなぎ続ける存在でありたいと願っています。

これからが本番、外大ネットワークの拡がりと繋がり

昨年の大阪・関西万博では、私が関わっていたポーランド政府関連の案件がありました。ポーランドの元大統領でありノーベル平和賞受賞者のレフ・ワレサ氏の来日講演およびポーランド館でのレセプションが開催され、本学関係者や卒業生を含む約10名の皆さんに参加をいただき、会場はさながら外大同窓会のような温かな場となりました。実は、それに遡ること2011年に本学での開催に向け奔走し実現した「世界とつなぐ ポーランドウィーク」から続く交流が、こうして現在へとつながっています。卒業生による外大ネットワークの拡がりとその真の価値と可能性はまさにこれからが本番！を迎えます。

※東京支部の来し方と歩みをこちらのリンクからご覧ください。
http://www.kufs-tokyo.com


セミナー風景


レフ・ワレサ氏と

農と子どもたちの未来を作る
〔能登半島を有機農業の生産拠点に！〕

能登半島に地球が喜ぶ農業の生産拠点を作るというプロジェクトを2022年に構想。2023年春、Farmer's Village NOTO村民を大募集するためにクラファンに挑戦し100名の村民と200名の支援者を集め、能登半島の最果ての地、珠洲市正院町でスタート。わずか３ヶ月で中断を余儀なくされました。2024年元旦の大地震で被災し、拠点が倒壊したためです。

その後、珠洲市正院町に毎週炊き出しに出向き、体制を整え、野々市の拠点である小さな八百屋「香土カグツチ」近くに畑を借りて、営農再開。能登半島との関係性を再構築しながら、2025年夏、珠洲市



香土カグツチ外観

にて新たな仲間を見つけ、2026年春、田んぼと野菜作りを再開します。

農業への道

さて、私は1981年３月、外大を卒業後、地元金沢市内のホテルに就職し、ホテルマンとして人生を全うするつもりだったが、いくつかのホテルを転職し、2010年年明け、兼六園そばのホテルに在籍している際、農家との出会いがきっかけでホテルを辞し、能登半島に浮かぶ島、能登島にて農業を始めた者です。

その後、営農、販路、地域づくり、農家とのネットワーク作りなど農業まっしぐらの中で、石川県産の野菜だけを売る八百屋を開業。

子育て世代のママさんとの交流の中から、一大生産拠点づくりを発案するに至りました。

一億総農民を標榜し、地球を意識した暮らしや子



特別授業
金沢大学附属小学校



農作業（珠洲市三崎町）



子どもたちと畑で

どもたちの食を守るために私は残された自分の人生を賭けて活動し続けます！

- Farmer's Village NOTO
  https://farmers-village-noto.com
- 香土（カグツチ）―石川県の農家さんの旬な野菜だけを販売する八百屋―［instagram］
  @kagutsuchi_ishikawa



洲崎　邦郎

s55年度英米語学科卒

PROFILE（すさき　くにお）
農家、農業プロデューサー
1959年3月　金沢市生まれ
2010年春　ホテルマンを辞し、能登島にて農業を始める。
2011年春　農業法人設立
2016年夏　NPO法人アグリファイブ設立
2018年夏　八百屋「香土カグツチ」開業
2023年夏　珠洲市にて新たな農業法人を設立

架け橋でありたい

日本に一時帰国の際は必ず京都を訪れますが、京都外国語大学が自分の原点でありいつもそれを誇りに思っています。平成元年３月に卒業しました。おしくも同年１月に昭和天皇が崩御され年号が平成に、就職後は元年入社（新人類）と呼ばれ、バブル時代でした。コンピューターもまだ一般普及しておらず、１回生の時クラス担任の前学長、小野教授に旧１号館のコンピューター室に案内いただき、レコードのような大きいディスクを２枚入れやっと起動するようなもので、まだまだ原始的でした。２カフェで食べる昼食の時間は楽しく、学内のオウム書店では手動タイプライターが普通に販売されており、掲示板にはアルバイト募集など様々な張り紙が。在学中に京都市バスの梅津車庫が現在の森田記念講堂に生まれ変わりました。そして旧式の携帯電話が少しずつ広まった時代でした。当時葛野大路はまだ四条より北には広がっていませんでした。



シアトル日本庭園での
茶道ボランティア

卒業後商社で勤務し、結婚を機にシンガポールに移住、その後20回以上の引越を経て米国ワシントン州シアトル近郊で20年暮らしています。その間２人の子供にも恵まれ、子育て中当地の私立学校の幼稚園、小学校で日本語教師として勤務しました。移住してからなかなか日本と向き合うことがなかったので改めて日本語や日本文化の素晴らしさを実感しました。シアトルは日本との関係も深く多くの県人会があります。最古の「紀州クラブ」は今年で120周年を迎えました。ここには日本と同じぐらい文化を重んじる日系人がおり、どんな食材も集まり食生活も豊かです。子育てが一段落して、日本文化への回帰の念が募り着物を自分で着てみたいと願うと着付けの先生もいました。着物ともっと繋がるようにと茶道裏千家に入門し７年近く経ち週末は稽古に励み、茶道のボランティアも務めています。５年前にアメリカで100年以上の歴史をもつ金融機関に再就職し現在に至ります。今も日々生きた英語を学んでいます。近郊には数人の京都外国語大学の卒業生がおりいつかシアトル支部を立ち上げることができたらと願っています。



茶道裏千家シアトル協会初釜でのデモ（2025年）





写真左）シアトル在住、京都外国語大学卒業の大先輩でレストランオーナーの高橋 進さんと
写真右）2025年同窓会に来てくださった小野学長と於リプレ



野井　聖子

s63年度英米語学科卒

PROFILE（のい　さとこ）
- 2020年から現在　エドワードジョーンズ（米国）：ファイナンシャルパラプランナーおよび顧客管理
- 2018年から2019年　オールドキャッスル（米国）：経理購買担当アシスタント
- 2011年から2017年　シーダーパーククリスチャンスクール（米国）：日本語教師およびコンピュータースキル教師
- 2000年から2001年　インターナショナルクチュールグループ（シンガポール本社）：オーナーアシスタント 日本で在宅
- 1995年から1997年　株式会社山幸製作所：インドネシアプロジェクト（プラント輸出翻訳通訳業務担当）
- 1995年　株式会社ジオス：英会話指導
- 1992年から1993年　野村證券シンガポール法人：上級秘書
- 1991年から1992年　株式会社スタッフサービスシンガポール法人：マーケティング補佐および人事面接官
- 1989年から1990年　兼松株式会社：専務秘書







学園創立80周年に向けて

プレイベント「ホームカミングデー」開催予定







思い返せば、私が本学に就職し５年目（1987年）に40周年を迎えております。この年に記念事業として森田記念講堂が建設されたり、国際会議場での式典、東京銀座で図書展が開催されたと記憶しています。この図書展に後に総理になられた海部俊樹氏や森喜朗氏も来られました。また、直接携わったアグネス・チャンさん（初代日本ユニセフ協会大使）の講演など華やかなイベントがたくさんあり、この大学を卒業し、この大学に勤めている誇りが芽生えたように思います。それから50、60、70周年と重ね来年は、いよいよ80周年を迎えます。

そこで、80周年のプレイベントとして、今年、大学・短期大学では11月３日に「ホームカミングデー」を開催いたします。詳細は、決定次第ホームページなどでお知らせいたしますので、奮ってご参加願います。

記録に記憶にも残る「80周年」を、そして100周年に向かって、皆様と一緒に進んでまいります。

大学総務部長　村岡孝之（s57年度中国語学科卒）

ホームカミングデー開催予定!!

開催日　2026年11月3日(火・祝)
場　所　本学キャンパス内

※ご参加の卒業生の方々に、楽しい企画を実施いたします……お申込みなど、詳しくは、本学ホームページにてご確認ください。
https://www.kufs.ac.jp/

校友会設立65周年記念総会に向けて

2027年度は学園創立80周年記念の年、校友会は設立65周年の祝年を迎えます。

そして、５年に一度の校友会総会の開催年にあたります。総会日時は未定ですが今後開催内容の検討とともに準備してまいります。

先輩方が生み育ててくださったこの校友会を、さらに発展させるために多くの会員の皆さまに集まっていただきたいと思います。是非ともご参加くださいますようお願いいたします。

詳しいご案内は開催日時・内容が決まり次第会員の皆さまにお知らせいたします。また、校友会ホームページでも新たな情報が決まり次第お伝えしますのでご覧ください。

▸ 校友会ホームページのご案内　http://www.kufs.ac.jp/koyukai



60周年総会（2022.10.8）

短期留学FAP奨学金
―留学準備金給付 体験報告―

2025年度より大学主催の短期留学プログラム「**First-Step Abroad Program（FAP）**」の参加者に校友会より留学準備金を給付することとなりました。1/20（火）４号館にて左近会長・杤込副会長・黒住国際部長が出席し授与式が実施されました。

今回はスペイン・フランス・イタリアの３コース計35名の参加で京都外大協定大学での留学プログラムが実施されました。参加学生が語学研修・文化体験・交流イベント等を通じて異国の文化に直接触れることを願って校友会よりの補助金を給付いたしました。

会報誌では参加者の中から各コース代表の方に体験報告をしていただきました。

2025年度



スペインコース　岩崎　生河（スペイン語学科 2年次生）

歴史あるサラマンカの街での三週間は驚きの連続でした。日本とは異なる時間の使い方や価値観を肌で感じたことで、多角的な視野が養われました。この経験を糧に、もっと世界へと挑戦し続けていきたいです。







スペインコース　高橋由梨佳（スペイン語学科 2年次生）

留学中、各国の人々とスペイン語で交流し友人関係を築いた経験から、スペイン語でも国際交流が可能だと実感しました。一方で英語の重要性も感じており、今後は両言語の向上に努め、将来はスペインでの長期留学実現も目指したいです。







フランスコース　津田　英音（フランス語学科 3年次生）

初の留学で不安もありましたが、現地の方々の優しさに支えられ、間違いを恐れず積極的に会話する大切さを学びました。この経験を糧に、帰国後も楽しみながらフランス語の勉強を続け、もっと自分の言葉で伝えられるようになりたいです。







フランスコース　岡山　基慧（フランス語学科 3年次生）

３週間の短期留学で語学力が大きく成長したとは感じませんが、言語の壁を超え自分の考えを伝えていく中で表現力が向上しました。また、様々な国の人と出会い関わることで価値観の違いを肌で感じられたことが１番良かったと感じます。







イタリアコース　須藤みず希（イタリア語学科 2年次生）

私がFAPに参加して良かったと思うことのひとつは、イタリア人も含め、色々な国の方とイタリア語での会話ができたことです。伝えるのが難しい時もありましたが、いい経験になりました。今後も運用能力の向上を目指していきたいです。







イタリアコース　塚本　晃樹（イタリア語学科 3年次生）

現地の方の暖かい歓迎に触れることができた一方で、授業では上手く発言できず苦労しましたが、最終試験で良い評価を得て成長を実感しました。今後はもっと様々なことに挑戦していき、学業や来年からの就職活動にもイタリアでの経験を活かしていきたいです。





令和７年度 「校友会奨学金 授与」慶びの声

外国人留学生給費奨学生

■ 外国語学部・国際貢献学部



リー ペーイ（中国）
（日本語学科・４年次生）

将来は外資系で経験を積み、成長したい。



ジョイス オン シミン
（シンガポール）
（グローバルスタディーズ学科・４年次生）

大学での学びを生かし、母国と日本に貢献したい。



ワン ズチン（中国）
（グローバルスタディーズ学科・２年次生）

異なる文化を結び課題を解く実践者に。



ラ ケイケイ（中国）
（グローバル観光学科・r７年度卒）

力を尽くし社会に貢献し、より良い未来を築きたい。



ショウ ズイキ（中国）
（グローバル観光学科・３年次生）

人から信頼される魅力的な人になりたい。



■ 留学生別科





ピュー シン チュエー（ミャンマー）
（留学生別科）

日本で技能を活かして働く外国人の支援をしたい。



エー スー モー サン（ミャンマー）
（留学生別科）

外資系企業でFPとして活躍できる人になりたい。

「併設短期大学推薦編入学試験入学検定料補助金」授与式の挙行

2026年１月16日（金）、８号館会議室にて執り行われました。

本制度は、併設短期大学から本大学への編入学試験に合格され入学される皆さんへの支援制度です。

授与式は、左近校友会長、杤込副会長、小野学長、布施部長、石永次長の出席の下、左近会長から認定書と補助金が手渡されました。続けて左近会長、小野学長から祝辞、そして代表上垣璃紗さんの謝辞で締めくくられました。今年の対象者は４名でした。



「輝く星となる学生」給費奨学生

■ 外国語学部・国際貢献学部・短期大学



ホン ジンヨン
（マレーシア出身）
（日本語学科・２年次生）

この度は「輝く星となる学生」にご選出いただき、非常に光栄に思います。私は将来、日本語教師として言語を通じて人と人をつなぐ架け橋となることを目標としております。今回の選出を契機として、今後も専門的知識と指導力の向上に努め、粘り強く頑張ります。



広田　雅
（大阪府出身／茨木西高等学校）
（英米語学科・４年次生）

私が京都外国語大学に入学した理由は海外留学を幼い頃から夢見ていたからです。オープンキャンパスに訪れた際、在学中の先輩方から京都外国語大学での活動や楽しみ、言語を学ぶ楽しさを実際に聞いて私自身この大学で学びを経て夢だった留学をしたいと心から感じました。京都外国語大学に入学できて良かったです。



亀山　佳菜
（滋賀県出身／虎姫高等学校）
（英米語学科・４年次生）

突然の体調不良で授与式に出席できなかったことは大変残念でした。京都外国語大学で「輝く星となる学生」として選ばれたことを誇りに、社会に貢献できるよう努めていきたいです。



岡田　尚子
（福岡県出身／西南学院高等学校）
（キャリア英語科・２年次生）

「輝く星となる学生」にご選出いただき、大変光栄に存じます。感謝の思いを忘れることなく、自分の目標に向かって勉学や課外活動に励み、多文化社会の架け橋として成長できるよう、今後とも精進して参ります。





生涯学習講座無料のお知らせ

京都外国語大学校友会会員の皆さまへ

校友会会員の皆さまは特別に生涯学習講座の受講料が免除となります。

※１学期につきお一人様１講座までとさせていただきます。

※ただし、定員を超過した場合は、受講料を全額お支払いいただく方を優先させていただきます。

- 詳しい講座内容につきましては、パンフレットをご覧ください。
- お申込みは申込フォームよりお願いいたします。

【問い合わせ】ランゲージセンター　075-925-5369

パンフレット

申込フォーム



在学生からのメッセージ





中津 由々
（大阪府／プール学院高等学校）
英米語学科３年次生

私は現在、ダイヤモンドコースに所属し、忙しいながらも楽しい日々を過ごしております。特に、ペアで紹介する日本文化英語プレゼンコンテストで第３位に入賞したことは、私にとって大きな成長の機会となりました。

今年度の秋学期からはイギリスのニューキャッスル大学に留学します。１年間の留学は小学生の頃からの夢でした。そのため、この留学経験を通して、語学力と専門分野の知識をさらに深めていきたいと考えています。



河西 レイ
（フィリピン〈マニラ〉／加古川南高等学校）
スペイン語学科４年次生

私が京都外国語大学を選んだ理由の一つに語劇祭がありました。スペイン語学科はコロナ禍以降出場が途絶えていましたが、大学三年目にしてようやく部を一から再結成することが出来ました。主役を務めた私は、短期間で集中的に発音練習を重ね、最後には賞をいただくことができました。外国語はただ学ぶことだけでなく、アウトプットをすることが重要だと私は考えています。そしてそれを様々な形で実践に移せる環境こそが京都外国語大学の魅力だと感じています。



村瀬 真理菜
（福岡県／徳島県立城北高等学校）
ブラジルポルトガル語学科２年次生

私は、ブラジル、アンゴラ、ポルトガルに同じ信仰を持つ仲間がたくさんいます。そのため、大学生活の間にポルトガル語を身につけたいと思い外大に進学しました。毎日の授業の中でポルトガル語はもちろん、ポルトガル語圏の文化や歴史を学ぶことができてとても楽しいです！私は、全日本学生ポルトガル語弁論大会に出場し、第二位と在名古屋総領事特別賞を頂きました。とても良い経験になりました。これからもポルトガル語の勉強を頑張っていきたいです。



柏原 渓大
（長野県／諏訪二葉高等学校）
ドイツ語学科r7年度卒

私は国際人として活躍したくなり、言語を学び直すために24歳で京都外国語大学に入り直しました。

大学では良き先生方や友人達に恵まれ、語学を学ぶ傍らにオープンキャンパスやプレゼンテーション大会のスタッフ、中高生向けのキャンパスツアースタッフ等を経験させていただきました。

現在、ドイツ語とは直接関係のない分野への就職が決まりましたが、ここで学んだ事はこの先困難に直面したとき等に自分の力になると思っています。



長谷 珠樹
（大阪府／大阪府立旭高等学校）
フランス語学科 r7年度卒

フランスのアンジェへの留学を通して、最初はホストマザーとのコミュニケーションがうまく取れず、言葉や文化の違いに戸惑うこともありました。しかし、諦めずに積極的に話しかけ、自分の気持ちを伝えようと努力を重ねたことで、次第に信頼関係を築くことができました。四年間はあっという間でしたが、この経験を通して挑戦する大切さと相手を理解しようとする姿勢を学び、大きく成長することができたと感じています。



小原 あずさ
（滋賀県／滋賀県立水口高等学校）
中国語学科 r7年度卒

私は京都外国語大学で中国語を学び、言語だけでなく、その背景にある文化や価値観についての理解を深めてきました。上海同済大学への派遣留学や日々の授業を通して、多様な考え方を受け入れる大切さや、主体的に考え、自分の言葉で思いを発信する力が身についたと感じています。学ぶ中で迷いや壁に直面することもありましたが、先生方や仲間の支えを得て、前向きに挑戦を続けることができました。今後はこの経験を生かし、人と人、異なる文化を架橋する存在になりたいです。



西尾 海里
（北海道／旭川明成高等学校）
日本語学科４年次生

私は今ハンガリーにいます（2026年１月現在）。ワーキングホリデー制度を利用し、現地の日本語学校で働いています。ハンガリー語が分からず、教える立場としての自分の未熟さを痛感する日々です。その一方で、大学で先生方から教わったことの一つひとつが、今の自分を支える力になっていることを多くの場面で実感しています。そして、日本から遠く離れたこの地で日本語を学んでくれている人たちの存在や、毎日少しずつ成長している自分を感じられることが、大きな励みになっています。滞在も残り半年となりましたが、迷いながらも楽しみつつ、この貴重な経験と真摯に向き合っていきたいと思います。



奥村 夏帆
（愛知県／東海学園高等学校）
イタリア語学科r7年度卒

私は入学時まだコロナ禍であったため、当時は制限が多くありました。一度きりの大学人生を悔いのないものにしたいと思い大学を１年休学してイタリアへ留学を決意しました。文化の違いに悩まされ、言語の壁にぶつかりましたが、自分自身の成長につながるきっかけになりました。帰国後は、常に行動力や挑戦心を持って検定を受け、弁論大会に出場するなど様々な経験を積むことができ、今後も挑戦を継続してまいります。サポートしてくださった先生方に感謝しております。



門井 遊喜
（大阪府／四條畷高等学校）
ロシア語学科 r7 年度卒

私は４年次生の時にウズベキスタン・タシケント市に１年間留学しました。そこでは語学だけでなく中央アジアの文化・歴史についても学び、新たな知見を得ることができました。また、留学生としての暮らしで培った生活力やコミュニケーション能力は大きな財産です。今の自分にできることは自身の経験を通じてより多くの人に中央アジアの魅力を知ってもらうことだと考えており、卒業後も勉強を続けて日本―ウズベキスタン間のビジネスや文化交流に関わりたいと思っています。



木村 魁
（兵庫県／Ｎ高等学校）
グローバルスタディーズ学科４年次生

Hult Prizeのビジネスプランコンテストでキャンパスディレクターを務めたことで、私は貴重なビジネス知識を身につけ、英語力を高めることができました。また、クラスメートや教授と密接に協力して取り組む中で、自分のリーダーシップ能力の成長も実感しました。特に、先生方のご指導と支えがあったからこそ、やり遂げることができたと感じています。

この経験や関連する活動を通して、大学生活はとても有意義で思い出深いものになりました。今後も挑戦を続け、さらに成長していきたいと考えています。

As Campus Director for the Hult Prize business plan competition, I gained valuable business knowledge and strengthened my English skills. By working closely with my classmates and professors, I also felt my leadership abilities grow. I am especially grateful for the guidance and support from my professors, which helped me complete the program successfully.

Through this experience and similar activities, my university life has become truly meaningful and memorable. I will continue to challenge myself and keep improving in the future.



コ カコウ
（中国〈上海〉／上海市復旦実験高等学校）
グローバル観光学科r7年度卒

私は京都外国語大学で観光学を専攻し、ユニバーサルツーリズムを研究してきました。移動制約者の支援実態を探るため、清水寺などでの聞き取り調査に加え、老人ホームでの参与観察を続けてきました。施設の園外行事の添乗補佐では、外出時の不安や必要な配慮を肌で感じ、多様なニーズへの理解を深めました。

この観光と福祉の両側面から得た知見を活かし、誰もが安心して旅を楽しめる環境づくりに貢献したいと考えています。



サプコタ パビトラ
（ネパール／大阪薫英女学院）
キャリア英語科r7年度卒

父の仕事で、母国ネパールから日本へ来日して12年が経ちました。英語を深く学ぶため京都外国語短期大学に入学し、入学後は、学費を補うためのアルバイトと学業の両立に励みました。

学生生活で特に印象に残っているのは、短大唯一のサークル「英志会」での活動です。１年次と２年次に、母国ネパールの文化を紹介するイベントを企画しました。ネパールのダンスを皆んなに体験してもらい、学生や先生方と一緒に楽しんだことは、私にとって最高に楽しい思い出です。

また、学習面では多読に力を入れ、２年間連続でクラス一位となり表彰式に参加することができ、英語力の自信につながりました。

短大卒業後は、これらの経験を活かし、日本で暮らす外国の方々をサポートできる仕事に就きたいと考えています。

MY DREAM

卒業生からのメッセージ





阿部　春香　h29年度日本語学科卒

「京都に住んでみたい」、「京都で日本文化を学んでみたい」、「着物が着られるようになりたい！」、高校３年生夏のオープンキャンパス直後に、こんな不純な動機で京都外大日本語学科への進学を決めたのがついこの間のようです。

京都外大への進学を決めたように、これまで私は自分の「やりたい」という気持ちに従って人生の選択をしてきました。外大卒業後の大学院進学も「修士課程に行ってみたい」という気持ちがきっかけで、それを辿っていくうちに博士課程まで進んでいました。現在のポーランド生活も、私の「やりたい／やってみたい」という気持ちからです。

私の「やりたい」をすることができたのは、そんな気持ちを理解し支えてくれた家族を始めとする周囲の方々の応援があったからです。「My Dream」とするには少し仰々しいですが、これからも自分の中の「やりたい」という気持ちを大切にしながら、誰かの「やりたい」を応援、支えていける教育者になっていきたいと強く思っています。

2018年３月 京都外国語大学外国語学部日本語学科卒業
2018年４月 筑波大学大学院人文社会科学研究科　国際日本研究専攻博士前期課程　入学
2020年３月 同上　修了
2020年４月 筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院　国際日本研究学位プログラム博士後期課程　入学
2025年３月 同上　修了
2025年９月より　サンスター日本語学校（ポーランド）にて日本語講師





小谷　博樹　h4年度英米語学科卒

私の夢は、ことばの力で人と世界を繋ぐことです。京都外国語大学で学んだ「言語を通して世界の平和を」という建学の精神は、卒業後の歩みの中でより深く私の中に根づいていきました。

放送局で記者として働いた４年間、阪神淡路大震災や事故現場の取材を通して、命の尊さを伝える使命を痛感しました。戦争を体験された方の取材では、平和を希求する声をどう届けるかを自らに問い続けました。

ロンドン大学への留学、フリーアナウンサーとしての経験も、ことばが人を支え、社会を動かす力を持つことの学びに繋がりました。

現在は中学校教諭として生徒と向き合っています。生徒たちには、大きなことはできなくても、海外の紛争や災害の被害者に寄り添う気持ち、街で困っている外国人に声をかける優しさ、異文化に興味と理解を示す草の根外交の精神を育んでほしいと願っています。ことばを学ぶことが、平和への小さな一歩になると信じて、これからも子どもたちと共に歩んでいきたいと考えております。

88年度　滋賀県立米原高校卒
92年度　英米語学科卒。在学時フリーガイドクラブ第30期部長。現在、教志会書記
93年４月～97年３月　びわ湖放送株式会社にて報道部記者として勤務
退社後、１年間のロンドン大学留学を経てフリーアナウンサーに
08年度より大津市立中学校英語科教諭

校友会グッズのご案内

校友会グッズをご紹介させていただきます。 校友会グッズはTシャツ、エコバッグ、トートバッグがあります。
Tシャツは メトロブルー／ホワイト／ロイヤルブルーの３色！
サイズは　S, M, L, XL の４サイズ！　男性用サイズ感で、大きめですので、女性ならワンサイズ小さくても良い感じです。

●金額はTシャツ１枚￥800　送料２枚まで￥600 ！　それ以上はお問い合わせください。
●エコバッグ、トートバッグはそれぞれ￥500です！
ご希望の方は、校友会事務局までメールにてご連絡ください。
koyukai@kufs.ac.jp ご連絡お待ちしております。



ロイヤルブルー、メトロブルー、ホワイト



エコバッグ　　トートバッグ

クラブ同窓会連絡会・交流会

９月27日（土）２年ぶりに大学構内11号館での開催となりました。当日はクラブ卒業生35名、クラブ現役11名、学生部会６名、大学幹部２名、校友会本部８名と合計62名の参加者となりました。左近会長の挨拶ののち各クラブ及び現役学生部会からの活動報告をいただきました。

フリートーキングの時間では「各クラブ役員の高齢化問題」について活発な意見交換がなされました。会議後の交流会では、連絡会で打ち解けたメンバー同士がとても和やかな雰囲気で、笑顔と笑い声の絶えない時間となりました。



外大祭模擬店

11/2～3と今年も外大祭が開催されました。校友会では11/3に校友会ブースを11号館に出店させていただき、毎年大好評のあめ玉つかみと校友会グッズを販売させていただきました！ 外大祭実行委員長の方に校友会から助成金もお渡しさせていただきました。

今年は木枯らし１号の吹き荒れる、晴天なのに強風と時折雨という天候の中、たくさんの学生達や先生方、ご近所のご家族、子ども達と本当に大盛況で今年も２時過ぎにはあめ玉つかみは無事終了！ 楽しい時間でした。

お越しいただいた皆さま、ありがとうございました。





JK杯「言葉の壁を越えて！ 英語スピーチ大会報告」（和歌山支部）

12月14日（日）、「第31回JK杯小中学生英語スピーチコンテスト決勝大会」が河西コミュニティセンターで開催されました。一次審査を通過した小学生、中学生各12名は、練習を重ねてきた流暢な英語で堂々と、表現豊かにスピーチを披露してくれました。緊張した面持ちながらも、ステージに立つと表情は一変。身振り手振りを交えながら、自分の言葉で堂々と聴衆に語りかける姿が非常に印象的でした。

また、審査中には、校友会会員が指導している「子ども英語落語」が披露されました。これからも郷土和歌山に誇りを抱き、広く世界に目を向け、楽しんで英語を学んでくれることを願っています。

支部長　植西仁美（h3年度英米語学科卒）





→ 韓国支部

支部長　康　淑姫　h20年度日本語学科卒



2025年６月28日、ソウル仁寺洞にて韓国支部第10回懇親会を開催いたしました。卒業生を含む11名が参加し、由井紀久子研究科長、左近正則会長、加納友美子会計も日本よりご臨席くださいました。近況報告や歓談を通じて親睦を深め、今後の交流発展を誓いました。





→ 和歌山支部

支部長　植西仁美　h3年度英米語学科卒



■ 三尾の歴史とラーメン。学生の志に触れた支部総会

令和７年７月６日（日）、ホテルアバロームきのくににて令和７年度和歌山支部総会を開催いたしました。総会後には、外大国際貢献学部グローバル観光学科の学生による「ラーメンがつなぐルーツと地域活性化～麺と向かって三尾に向き合う～」と題した発表が行われました。和歌山県日高町三尾地区の歴史と食を絡めた瑞々しい感性に、参加者一同、深い感銘を受けました。その後の懇親会では、美味しいお料理を囲みながら旧交を温め、現役学生たちの志に触れることで、母校への誇りを再確認する有意義なひとときとなりました。

→ 教志会

会長　樋口一哉　h2年度英米語学科卒



■ 令和７年度　教志会英語教育実践報告研究会

今年は英米語学科の杉本義美教授に「今求められる英語の授業」をテーマに基調講演いただき、その後学校現場で語学教育に携わっておられる先生方の実践発表となりました。小学校、中学、高等学校の先生からそれぞれ発表いただき、時代と共に変化する学校現場で活躍されている卒業生教員の様子が非常によく伝わりました。現場の先生方はもちろん、現役の大学生、大学関係者のみなさんに参加いただき非常に充実した研究会でした。



発表の様子



杉本教授の講演の様子

→ 徳島支部

支部長　岸本和代　s51年度英米語学科卒



令和７年８月14日、左近校友会会長をはじめ、大学役員の皆様、会員の家族も参加され、ホテルクレメント徳島にて第31回徳島支部総会を開催しました。懇親会では「JAPAN BLUE」として世界に知られ、日本遺産に認定された「阿波藍」について研究発表が行われ、故郷の伝統・地域文化への理解を深める機会となりました。

また、参加者一同、ハワイアンバンドの演奏にあわせて歌い踊り、世代を超えた交流が生まれました。

夕刻には有名連・藝茶楽連（げいさらくれん）のサポートのもと、熱気に包まれた街の演舞場へ「京都外国語大学校友会連」は踊り込みました。



→ 福井支部

前支部長　松川欽哉　s44年度英米語学科卒

７月６日（日）県立図書館において「子ども国際講座　英語で遊ぼう！　世界を知ろう！」を開催。外大から「笠巻知子」先生を派遣していただきました。大学の先生から英語を習うことが出来て子供たちも幸せだったと思います。



９月21日（日）第11回福井支部総会・懇親会を今回は支部会員だけで開催。最初に春の叙勲で「瑞宝章」を受章された中野多郎右エ門氏に花束を贈呈、「子ども国際講座」のビデオを上映。挨拶なしで……乾杯のみで懇親会をスタート、フランクな楽しい会でした。



→ Club HAT's

役員　浅田優衣　h29年度中国語学科卒

■ Club HAT's 第29回親睦会を開催しました（2025年10月15日実施）

梅田のホテルグランヴィア大阪・スカイダイニングアブにて親睦会を開催いたしました。卒業生約40名に加えて５名の大学生も参加し貴重な交流の場となりました。

浪速のカリスマ添乗員・平田さん（日本旅行）にもご参加頂き苦労話を笑いと共にご披露頂きました。

そして毎回恒例の名刺抽選会！ 今回の景品も豪華で１位はリッツカールトンのアフタヌーンティーでした。

クラブハッツ親睦会は今後も毎年の開催を予定しております。次回もあなたの参加をお待ちしております！



→ 兵庫支部

支部長　川口榮一　s41年度英米語学科卒

令和７年10月25日（土）にホテルヴィスキオ尼崎にて第12回総会・懇親会を開催いたしました。懇親会ではヴァイオリニストのSHOGOさんに美しい旋律で会を飾っていただきました。昨年と同様に幅広い年齢の方にご支持いただき、お忙しい中、沢山の方にご参集賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

兵庫支部では、本年度も総会・懇親会の開催を予定しております。引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、宜しくお願いいたします。





→ 上海支部

支部長　鄭　嘯宇　h24年度日本語学科卒

11月２日、上海支部総会を開催しました。

会場は租界時代の面影を残すオークラガーデンホテル最上階のフランス料理店。支部員14名に加え、北寿郎理事長、岡本俊裕中国語学科長、國安俊彦教育支援部長、白鳥文子留学生別科長、校友会の左近正則会長らを迎え、ランチを囲みながら和やかに交流しました。

自己紹介や近況報告を通じて親睦を深め、今後の会員拡大と上海支部のさらなる発展に向けて意見を交わしました。



京都外国語大学校友会 検索

→ 福岡支部

支部長　北村　亨　h10年度スペイン語学科卒



福岡支部では去年11月、支部総会と懇親会を開催し、ご多忙のなか北寿郎理事長、左近正則校友会会長のご臨席を賜りました。福岡支部らしいアットホームな懇親会は、初参加の会員様にも楽しんで頂けたと思っております。



今後は、福岡のみならず、九州各地で活躍する若い校友のみなさんのパワーを取り込みながら、校友会活動のお役に立てるよう、みなで知恵を絞りたいと思っています。

→ 東京支部

支部長　青木光子　s52年度英米語学科卒



2025年12月６日、明治記念館にて東京支部総会懇親会が開催されました。お天気にも恵まれ、美しい庭園で記念撮影を実施。

会場ではクイズや抽選会が行われ、大いに盛り上がりました。さらに、ピアノとクラリネットによる生演奏が彩りを添え、和やかで楽しいひとときとなりました。

〔東京支部連絡先〕
KUFS_TOKYO@outlook.com



→ 奈良支部

支部長　大澤伸好　s59年度英米語学科卒



奈良支部は昨年12月７日に設立総会並びに懇親会を開催し、76名もの多くの出席がありました。設立総会では支部規約と支部役員の承認が得られ、その後和太鼓演者による躍動する演奏で出席者に元気を与えてくれました。午後から開かれた懇親会では皆さんが和気藹々と食事を楽しみ、笑顔で語り合いながら親睦を深めている姿が見られました。楽しい中にも皆さんの熱い思いが溢れるすばらしい懇親会となりました。これから活発で楽しい活動をしていきたいと思います。







→ 大阪支部

支部長　東　啓治　h2年度英米語学科卒



2026年３月７日、本学11号館ラウンジにて「大阪支部総会・懇親会」が開催されました。当日は近隣支部も含め約70名が集い、左近校友会長、北理事長の挨拶に続き、小野学長の乾杯で華やかに幕を開けました。

美味しい料理を囲みながら、リーガロイヤルホテルの商品券を懸けたジャンケン大会で会場は大盛り上がり。閉会後は思い出の学び舎を巡る学内ツアーも行われ、旧友や恩師との再会を喜び合う、絆の深まる一日となりました。





→ ソフトテニス部

OB会会長　谷口一夫　s56年度英米語学科卒

■ 令和７年度活動報告

例年通り、年２回、現役部員とOB会員の合同で、活動をしました。春は、５月24日に、OB会総会及び懇親会を実施しました。（参加者：現役11名、OB９名の計20名）。秋は、11月8日に外大テニスコートにて、テニス交流戦を実施しました。（参加者：OB11名）夕方からは、場所を移して、懇親会を実施しました。（参加者：現役９名、OB７名の計16名）詳細は、校友会HPをご参照ください。今後も、OBの方が気軽に集え、現役部員の方に様々なサポートの出来るOB会を目指していきたいと思います。





→ 剣道部

OB会会長　作間幸雄　s59年度英米語学科卒

令和７年5月24日にOB会総会と新歓コンパを開催しました。残念ながら総会参加者は以前に比べて少なくなり、固定化しつつあるのが現状です。他にも会費の未納など課題があり、打開策がなかなか見つかりません。

一方で令和７年度は新入部員が10人近く加わり、早速11月の若木杯関西学生剣道大会（新人戦）、女子３人戦の部で３位入賞を果たしました。

当会としても、引き続きOB間の親睦だけでなく現役への援助も続けていく所存です。



若木杯女子３人戦の部で入賞した選手たち



総会前の稽古会

→ 学生放送局

OB・OG会長　小川欣一　s42年度英米語学科卒

昨年６月に予定より１年遅れのOB・OG会を開催し18名が参加しましたが、令和７年度は局の前身が昭和35年に設立されて以来65年になる為、是非記念総会を開催しようと決議、令和８年２月21日に都ホテル京都八条で「学生放送局創部65周年記念総会」が実現しました。クラブ立ち上げメンバー３名をはじめ北は札幌から西は広島まで昭和・平成時代の仲間計27名が集まり、半世紀を超えた歴史を物語る練習活動教材やテープレコーダー・デンスケ（取材用テレコ）などの資材や活動アルバムを陳列、スクリーンでは各時代の作品の関連資料と音源を披露、制作担当者の苦労談なども交えて賑やかにアナログからデジタルへの時の流れを語り合い、2028年の次回開催を約束して散会しました。



→ ボディビル部

OB会幹事　井上雅夫　s44年度英米語学科卒

我がボディビル部は昭和40年から昭和44年まで、私たちが１回生から４回生迄ずっと関西学生ボディビル大会で４年連続団体優勝（近大、関大、関学、京大、立命、関西外大、大阪産大、大阪府大等参加）、個人優勝、２位、３位、10位までの輝かしい成績を収めました。

今年は10月５日（月）外大ロビー前に集合します。会合の最後に外大応援歌を歌い、昔を思い出して血湧き、肉躍る気持ちになります。当時の佐伯光和主将、森下晃吉君も亡くなり、寂しくなりましたがこの伝統を守っていくつもりです。

最後になりましたが、後輩現役の皆様よろしくお願いします。

大伴治郎（s44年度英米語学科卒）・岡本四郎（s44年度英米語学科卒）





→ 茶道部

同窓会会長　立古佳一　s61年度ドイツ語学科卒



11月３日、京都駅前のBeer Thirtyで第１回茶道部同窓会総会が開催され、外大祭に合わせて現役生のお茶会参加後に集まりました。創部約60年の歴史の中で全卒業生を対象とした同窓会は初の試みで、２年の準備を経て実現しました。初代部員を含む16名が参加し、規約や役員体制が承認されました。来年度はさらに多くの卒業生が集い、交流と現役生への支援が広がることを期待しています。



→ 自然科学研究会

OBOG会　柿本修一　s53年度フランス語学科卒



2025年12月６日、大阪ガーデンパレスにてOBOG会の総会と懇親会を開催しました。参加者は13名、当会OBである小野学長も駆けつけ、大学の近況報告をしていただきました。また仕事より天体観察を優先したOBや化石採集を続けているOBなど、それぞれの近況報告でも大いに盛り上がりました。当時の会誌である「NOSTALGIA」や写真アルバムも展示され、みな当時の思い出が蘇ったようです。

次回は学内施設での開催も検討していますので、多くの方々の参加をお願いします。



→ 能楽部

OB会副会長　塚田智恵　h19年度大学院修了



令和７年度も現役部員と一緒に「謡初めの会」、創部65周年・第60回記念「外大能」を無事に開催することができました。一年の始めと終わりに現役とOBが共に集い、日頃のお稽古の成果を発表する機会をもてることは、とても幸せなことだと思っています。一年一年積み重ねる大切さと意義を感じながら、今後も外大能楽部とともに能楽部OB会も頑張っていきます。

→ サッカー部

事務局/現役監督　古谷国大　h29年度ブラジルポルトガル語学科卒



2025年12月13日、三菱グラウンドにて「OB戦・懇親会」を開催いたしました。当日は日本全国から総勢33名のOB・OGが集結。世代を超えた再会に、会場は大いに沸きました。辻先生にもご参加いただき、OB戦でプレーいただきました！今後も12月の定例行事として継続してまいります。来年も多くの皆様の「帰京」をお待ちしております。



→ 弓道部

OBOG会会長　永田空知　h20年度イタリア語学科卒

令和８年１月17日（土）、弓道部OB.OG会総会を聖護院御殿荘にて開催いたしました。当日は32名の方にお集まり頂きました。総会では新役員の選任も行われ、永田空知新会長を始めとして役員より所信表明の挨拶を行いました。総会後は懇親会が盛大に執り行なわれました。

（事務局 村田祐健・寺内彩奈）





→ 海外事情研究会

OB会副会長　田口優友　h27年度英米語学科卒

■ 2025年度クラブ同窓会

１月31日（土）The Churrasco 京都河原町店にて、海外事情研究会のOBと現役生の懇親会を開催いたしました。OB会５名、現役５名に加えて顧問の國安教授にもご参加いただき親睦を深めました。令和11年に海外事情研究会は設立70周年を迎えます。コロナ禍以降、OBと現役との接点がありませんでしたが、これを機に今後も定期的に交流を図れたらと思います。次回はもっと幅広い世代のOBの方々もお集まりいただけたらと思いますので、ご参加お待ちしております。





→ ヨット部

OB会（帆友会）会長　大西政雄　s56年度英米語学科卒

■ 2025年度ヨット部OB会（帆友会）定時総会

２月７日（土）14時よりがんこ京都駅ビル店において、ヨット部OB会（帆友会）新年互礼会を開催いたしました。

冒頭大西（会長）より挨拶、故野路先輩（昭和37年卒業）奥様ご同席のご紹介と昨年の校友会主催のクラブOB連絡会議での内容を披露・説明する。続いて藤本副会長兼会計より監査報告（書面にて）並びに2025年の会計報告をおこない全員一致で了承されました。長谷川先輩（昭和37年卒業）の乾杯発声により懇親会が始まり、数時間の食事と歓談の後、LOGOS（vol.70）羽ばたく卒業生掲載福島君（平成元年卒業）より近況報告をし、佃先輩と坂井先輩の言葉をいただき閉会しました。



→ アメリカ民謡研究会

田賀たづみ　s44年度英米語学科卒

2014年11月に75名余が参加した外大ラウンジでの創部50周年から12年、創部期の９名が参加して、２月18日に三重県鳥羽市「戸田家」でOB会総会及び懇親会を行いました。



ここ数年で６名の方が亡くなった報告。平成令和の学生たちへの継承について話し合い、その後P.P.M.ブルーグラスを歌い大いに盛り上がりました。下級生の皆様連絡をお待ちしております。





2025年度　校友会事業報告

主な行事	
7月　4日(金)	外国人留学生給費奨学金授与式（留学生別科）〈8号館２階 会議室B〉
11月3日(月･祝)	外大祭　模擬店出店
28日(金)	外国人留学生給費奨学金授与式（外国語学部・国際貢献学部・留学生別科）〈8号館2階 会議室B〉
12月12日(金)	「輝く星となる学生」給費奨学金授与式
■ 2026年	
1月16日(金)	併設短期大学推薦編入学試験入学検定料補助（給費）授与式
1月20日(火)	FAP奨学金授与式〈R452〉
3月20日(金･祝)	学位記授与式

支部総会・懇親会	
5月21日(水)	東京支部　第25回理事長杯ゴルフコンペ（単年特定活動）〈ザ・インペリアルカントリークラブ〉
24日(土)	ソフトテニス部　OB会総会・懇親会〈第二分館テニスコート・すいしん西院店〉
24日(土)	剣道部　OB会総会・懇親会〈大学武道体育館・大衆酒場「天」〉
6月28日(土)	韓国支部　第10回総会・懇親会〈仁寺洞ヨジャマン（本館）〉
28日(土)	学生放送局　第11回OB・OG会総会・懇親会〈都ホテル京都八条〉
7月　6日(日)	福井支部　子ども国際講座（特定活動）〈福井県立図書館多目的ホール〉
6日(日)	和歌山支部　総会・発表会・懇親会〈アバロームきのくに〉
26日(土)	教志会　英語教育実践報告研究会・情報交換交流会〈1号館7階・4号館ラウンジ〉
8月14日(木)	徳島支部　第31回総会・懇親会・阿波踊り〈JRホテルクレメント徳島〉
9月　7日(日)	石川支部　ボーリング大会・懇親会（単年特定活動）〈百万石リゾートレーン〉
21日(日)	福井支部　第11回総会・懇親会〈福井フェニックスホテル〉
27日(土)	クラブ同窓会　連絡会・交流会〈11号館２階会議室・ラウンジ〉
10月15日(水)	Club HAT's　総会・懇親会〈ホテルグランヴィア大阪　スカイダイニング「アブ」〉
19日(日)	福井支部　国際フェスティバル（特定活動）
22日(水)	東京支部　第26回理事長杯ゴルフコンペ（単年特定活動）
25日(土)	兵庫支部　第12回総会・懇親会〈ホテルヴィスキオ尼崎〉
11月　2日(日)	上海支部　総会・懇親会〈上海花園飯店〉
3日(月･祝)	茶道部　クラブ同窓会総会・懇親会〈Beer Thirty 京都駅前店〉
3日(月･祝)	京都支部　ポップスコンサート（単年特定活動）〈ライブハウス「モダンタイムス」〉
8日(土)	福岡支部　総会・懇親会〈GRANADA SUITE on A Table〉
12月　6日(土)	東京支部　総会・懇親会〈明治記念館「芙蓉の間」〉
6日(土)	自然科学研究会　OB・OG会〈大阪ガーデンパレス〉
7日(日)	奈良支部　設立総会・懇親会〈リガーレ春日野〉
7日(日)	能楽部　OB共催 創部65周年　第60回記念「外大能」総会〈Beer Thirty 京都三条河原町店〉
13日(土)	サッカー部　OB会総会・懇親会〈三菱グラウンド・酒ト和食ほっこり京都木屋町本店〉
14日(日)	和歌山支部　第31回ジョン・ケンドリック杯小中学生英語スピーチコンテスト〈和歌山市河西コミュニティセンター〉
■ 2026年	
1月17日(土)	弓道部　OB・OG会総会・新年会〈聖護院　御殿荘〉
31日(土)	海外事情研究会　OB会定期総会・懇親会〈炭火焼鳥と一口餃子TORA鶏YA 四条河原町店〉
2月　7日(土)	ヨット部　OB会総会・新年会〈がんこ 京都駅ビル店〉
18日(水)	アメリカ民謡研究会　OB会〈戸田家〉
21日(土)	学生放送局　創部65周年記念総会〈都ホテル京都八条〉
3月　7日(土)	滋賀支部　第6回歴史文化ふれあい研修（単年特定活動）10：10～〈長浜市〉
7日(土)	大阪支部　総会・懇親会〈11号館２階　会議室・ラウンジ〉

※役員会・常任幹事会等の会議を除く。

2026年度　校友会事業計画（2026年4月末現在）

5月23日(土)	剣道部　OB会総会・懇親会
6月　6日(土)	韓国支部　第11回総会・懇親会
20日(土)	大学との交流会
28日(日)	広島支部　設立総会・懇親会
7月　5日(日)	和歌山支部　総会・懇親会
5日(日)	福井支部　子ども国際講座（特定活動）
25日(土)	教志会　英語教育実践報告研究会
8月14日(金)	徳島支部　総会・懇親会・阿波踊り
22日(土)	富山支部　総会・懇親会
9月13日(日)	福井支部　総会・懇親会
19日(土)	男声合唱団フロイデコール　創部60周年記念同窓会
26日(土)	高知支部　総会・懇親会
10月　3日(土)	石川支部　総会・懇親会
10日(土)	第8回　ローターアクトクラブ同窓会（OB・OG会）総会・懇親会（現役学生との交流会）
15日(木)	Club HAT's　総会・懇親会（予定）
11月3日(火･祝)	京都支部　総会・懇親会
3日(火･祝)	外大祭　大学ホームカミングデー
7日(土)	兵庫支部　総会・懇親会
22日(日)	福井支部　福井国際フェスティバル（特定活動）
12月　6日(日)	和歌山支部　ジョン・ケンドリック杯小中学生英語スピーチコンテスト（特定活動）
■ 2027年	
1月30日(土)	大学との新年会
2月27日(土)	東京支部　総会・懇親会（予定）

※事業計画は都合により変更される場合があります。
※役員会・常任幹事会等の会議を除く。

〔SNS開設についてのお願い〕
校友会支部・クラブ同窓会などのSNS開設に関しましてはプライベートグループの管理者設定でお願いいたします。また校友会ロゴの使用は正式な校友会パブリシティ広報活動として使用し、SNSなどの任意のコミュニケーションツールでは使用を控えてくださいますようお願いいたします。

■ 校友会役員

会　長　　左近　正則（s58A）
副会長　　三角　雅彦（s57A）
副会長　　加納友美子（s60A）
書　記　　杉本　博司（s53A）
書　記　　川本　葉子（h09A）
書　記　　中司　浩幸（s59E）
会　計　　大野　和男（s52E）
会　計　　今井真貴子（s55I）

■ 校友会監査役

監査役　　神谷　昌明（s55A）
監査役　　杤込　敏一（s63A）
監査役　　村岡　孝之（s57I）大学総務部長

■ 常任幹事

柴岡　和生（s48A）　竹内　信夫（s51A）　手塚志津恵（s51A）
拾井　　満（s52A）　川村　欣司（s52A）　青木　光子（s52A）
丸山　　均（s52H）　杉本　隆文（s54F）　金森　俊樹（s55G）
蔭山　峰子（s60A）　畑田　正人（s60A）　戸川　定昭（s62A）
福島　良雄（s63A）　川畑　正樹（h01A）　金島　由香（h01A）
藤田　昌弘（h01A）　竹村　紀子（h02A）　原口　浩史（h06E）
三原　伸剛（h06A）　野中　　仁（h15I）　大塚　妙香（h19G）
ウイルソン恵（h22A）

■ 校友会支部連絡先　※個人情報につき取扱いには十分ご注意ください。　2026年4月末現在

〈国内支部〉

東京支部	支部長　青木　光子	yuiyu81@yahoo.co.jp
大阪支部	支部長　東　ケイジ	azumakeiji7@gmail.com
京都支部	支部長　杤込　敏一	tyds.8453@gmail.com
徳島支部	支部長　岸本　和代	thanks-kazupage@me.pikara.ne.jp
富山支部	支部長　杉本　博司	hiroshisgmt@gmail.com
石川支部	支部長　手塚志津恵	kyoshitsu109@coda.ocn.ne.jp
高知支部	支部長　髙島　　勉	mjtss321@ybb.ne.jp
福岡支部	支部長　北村　　亨	alumni.fukuoka@gmail.com
鹿児島支部	支部長　鬼丸　　宏	099-243-5331
和歌山支部	支部長　植西　仁美	uenishihitomi@gmail.com
福井支部	支部長　林　伊知朗	hayashi160.ih@gmail.com
兵庫支部	支部長　川口　榮一	info@chuken.org
滋賀支部	支部長　木下　輝明	azuchiteluaki@smile.ocn.ne.jp
奈良支部	支部長　大澤　伸好	happy33nobu@yahoo.co.jp
広島支部※		瀧口　　礼　takiguchi-rei@hotmail.co.jp
沖縄支部	再活動準備中	
Club HAT's	会長　中野　秀治	hid.nakano54@gmail.com
教志会	会長　樋口　一哉	kazuyawalla3099@gmail.com

※2026年6月28日設立予定

〈海外支部〉

ロサンゼルス支部	再活動準備中	
欧州支部	支部長　村井　一博（s59A）	hiromurai104@aol.com
メキシコ支部	支部長　原田　　泉（s47E）	i_harada1011@yahoo.co.jp
アルゼンチン支部	支部長　谷口　庄平（s37A）	
ブラジル支部	支部長　ヴォウタニ友美（h15H）	actually_tomomi@hotmail.com
チリ支部	支部長　山口　大介（h01E）	d.yamaguchi@kampomarino.cl
上海支部	支部長　鄭　　嘯宇（h24J）	ruby19861105@163.com
シンガポール支部	再活動準備中	
香港支部	再活動準備中	
韓国支部	支部長　康　　淑姫（h20J）	toku-duhi@hotmail.co.jp
台湾支部	再活動準備中	

■ 活動中のクラブ同窓会紹介　※下記クラブ同窓会と連絡をおとりになりたい方は、京外大校友会・事務局（075-322-6057）にお電話ください。

クラブ名	会長（世話人）名	卒業年度・学科
卓球部	中辻　政明	s43A
サッカー部	森本　昌利	s57G
ソフトテニス部	谷口　一夫	s56A
ヨット部	大西　政雄	s56A
弓道部	永田　空知	h20L
空手道部	前田　早斗	s63A
剣道部	作間　幸雄	s59A
硬式庭球部	山本　正太	h14A
硬式野球部	八木精一郎	h03A
柔道部	河越　将守	s44A
少林寺拳法部	黒田　政人	s56A
ボクシング部	平松正四郎	s44E
バレーボール部	谷口　賢一	s52A
バスケットボール部	大元　浩文	s58A
応援団	川中　健司	s44A
陸上競技部	菊本　厚次	s48H
スカウトクラブ	植木　省道	s55E
ローターアクトクラブ	神谷　昌明	s55A

クラブ名	会長（世話人）名	卒業年度・学科
自然科学研究会	大澤　弘明	s53I
海外事情研究会	沢田　勝義	s46H
混声合唱団ソレイユ	米田　宣昭	s46A
貿易研究会	植松　宏行	s43A
能楽部	島谷　直見	s51A
FGC	藤田　　卓	s45A
弦楽アンサンブル	宮田　怜奈	h30A
吹奏楽団	平原　靖彦	h01I
ドイツ語研究会	神屋　信仁	s47G
ESS	柳原　慎司	h23A
学生放送局	小川　欣一	s42A
アメリカ民謡研究会	田賀たづみ	s44A
スペイン語研究会	吉富志津代	s53E
茶道部	立古　佳一	s61G
探検部	川畑　正樹	h01A
サウンドアーツフォークソングクラブ	拾井　　満	s52A
ボディビル部	田栗　和典	s57A

※変更がある場合には校友会事務局へご連絡をお願いします。